

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 の取組状況について



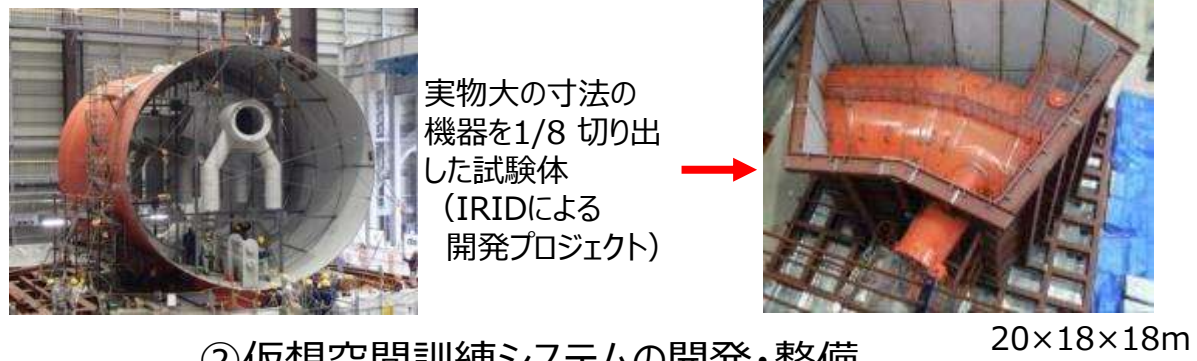
平成28年10月28日
危機管理部原子力安全対策課

廃止措置を加速し、研究を支える研究開発拠点の整備～楢葉遠隔技術開発センター～

① 楢葉遠隔技術開発センターの整備



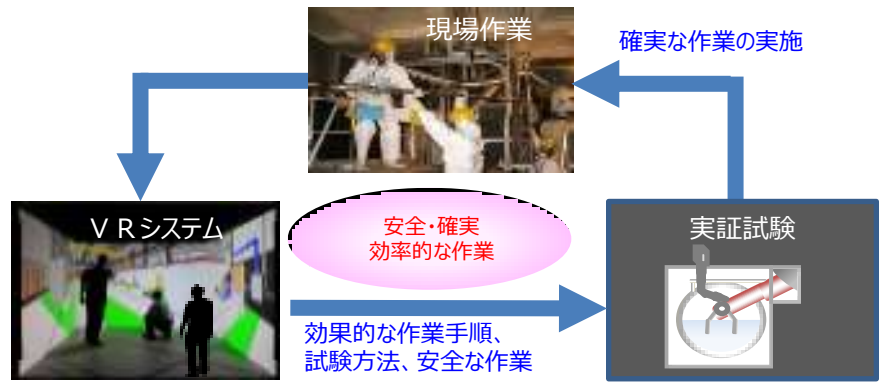
【止水試験エリア】



② 仮想空間訓練システムの開発・整備



- 建屋内の作業環境を実物大で再現。
- 災害対応ロボットの屋内実証試験、作業員訓練等を実施。
- 原子炉格納容器下部の実寸大模型を用い、冷却水漏えい個所の補修・止水の実証試験を実施。



- 作業計画の立案・事前検証
- 作業の事前訓練
- 作業計画の検証
- 作業訓練

● 仮想現実空間の中で、作業計画の立案・事前検証を行うことにより、安全・確実・効率的な作業に資する。

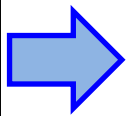
アウトカム

● 廃炉に必要な遠隔技術の着実な開発及び本施設を活用した地域の活性化に期待。

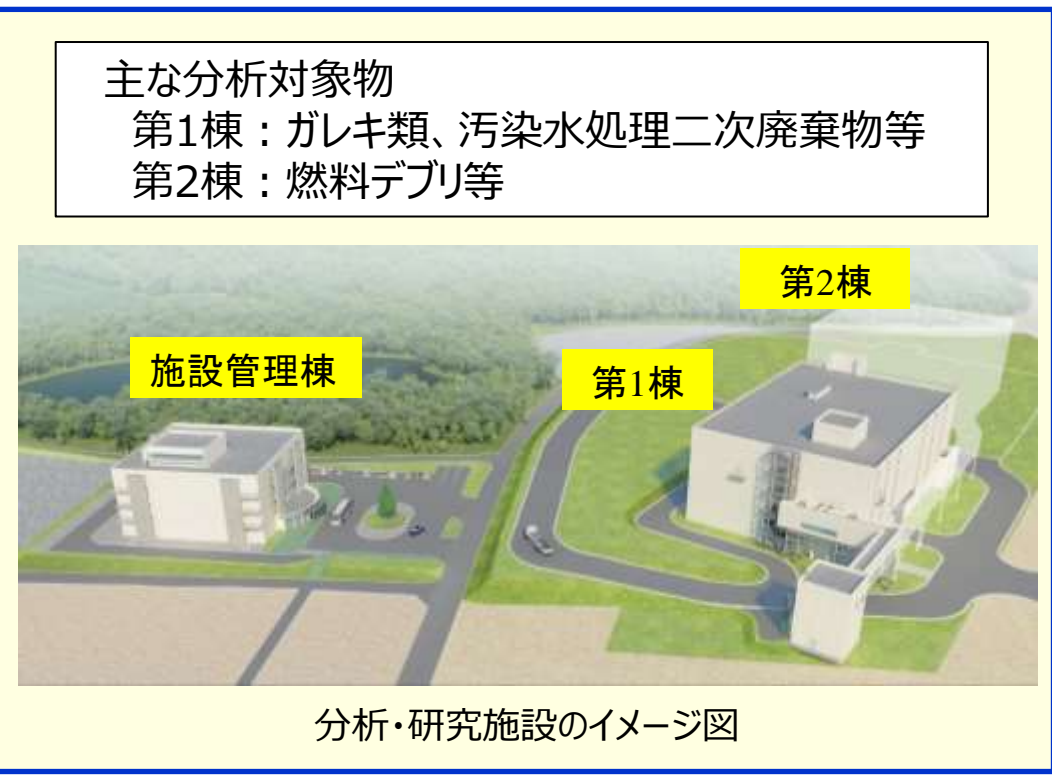
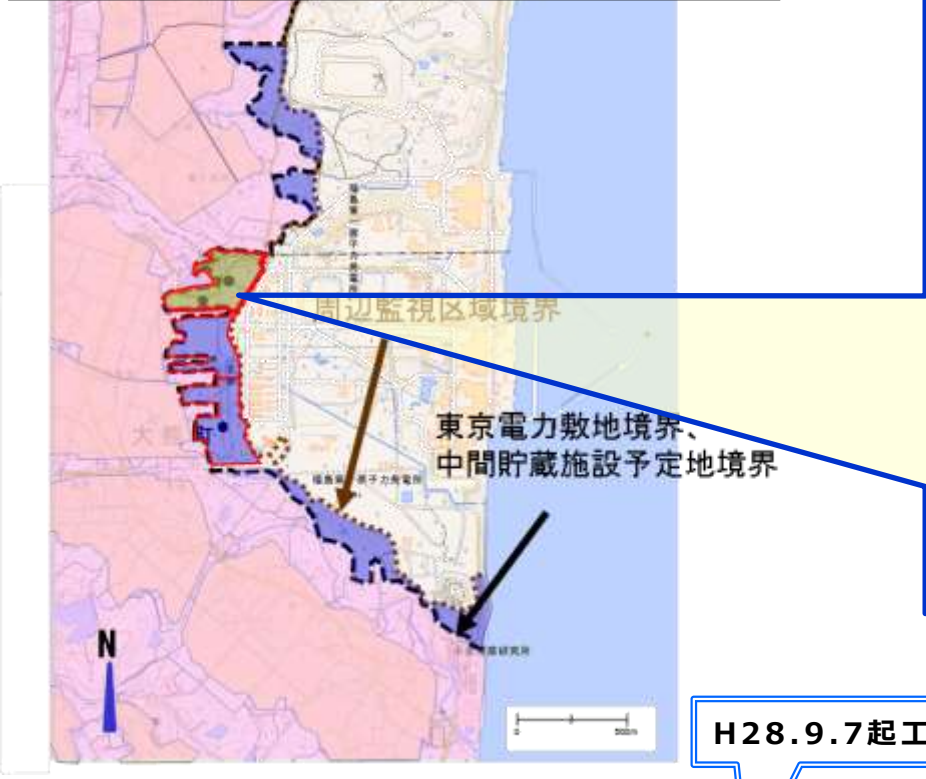
H28.4月本格運用開始

廃止措置を加速し、研究を支える研究開発拠点の整備～大熊分析・研究センター～

- ： 中間貯蔵施設予定地
- ： 福島第一原子力発電所隣接地の区割り
- ： 東京電力ホールディングス(株)敷地



主な分析対象物
第1棟：ガレキ類、汚染水処理二次廃棄物等
第2棟：燃料デブリ等



H28.9.7起工



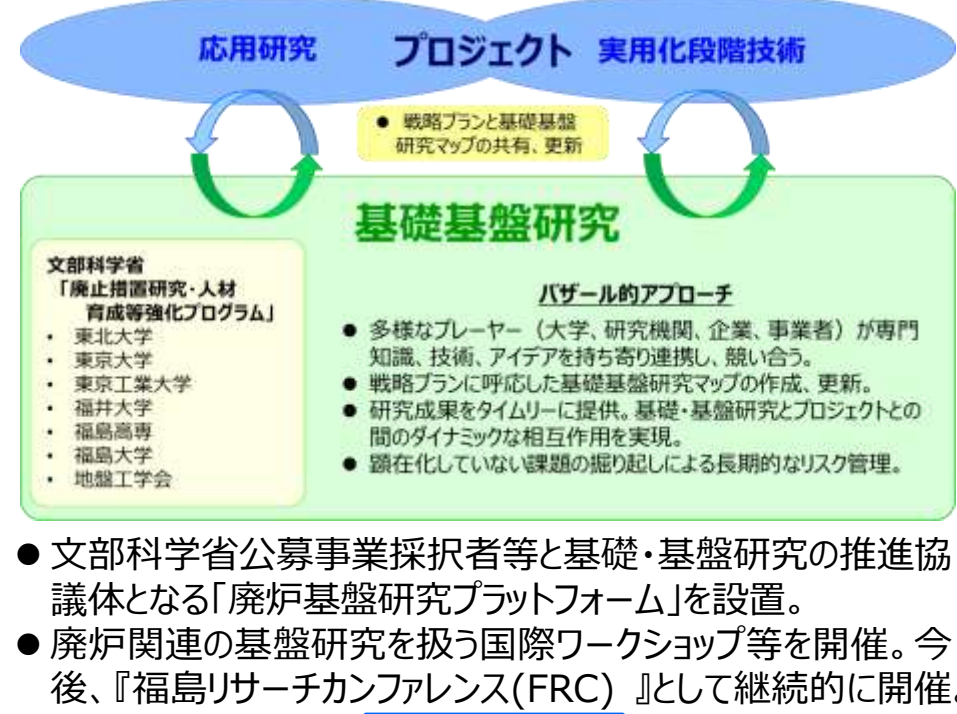
●国の中長期ロードマップに沿った整備が着実に進捗し、今後、東京電力ホールディングス福島第一原子力発電所の廃止措置等の安全かつ確実な実施に貢献。

廃止措置を加速し、研究を支える研究開発拠点の整備～廃炉国際共同研究センター～

① 廃炉国際共同研究センター設置、② 国際共同研究棟の整備



③ 廃炉基盤研究プラットフォームの形成



アウトカム

H28.4.25起工

- 国際共同研究棟の整備について平成28年度内の完成に向け計画どおり着実に進捗。立地地域の復興推進に貢献。
- 廃炉基盤研究プラットフォームにおける活動による、基礎基盤研究と廃炉の現場との橋渡しの実現に期待。

	細目	中長期 終了目標	H27（実績）年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33		
研究 開発 基盤 の 構築	遠隔操作 機器・装置 の開発実 証施設 (檜葉町)	施設利用 の促進に より廃炉の 進捗に貢 献									
			建設工事	施設運用遠隔操作機器・装置の開発実証施設							
	放射性物 質の分析・ 研究施設 (大熊町)	施設利用 の促進に より廃炉の 進捗に貢 献	施設管理棟、第1棟の詳細設計		建設工事 (施設管理棟)	施設運用					
				詳細設計 (第1棟)	建設工事 (第1棟)	施設運用※					
				詳細設計 (第2棟)	建設工事(第2棟)						
										施設運用※	
	国際共同 研究棟 (富岡町)	産学官に よる研究 開発と人 材育成を 一体的に 進める基 盤を構築	用地取得、詳細設計		建設 工事	施設運用					
			廃炉研究基盤プラットフォーム設置 研究マップ作成、ワークショップ開催	研究マップ更新／福島リサーチカンファレンス開催／共同研究							